

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(水道)配・給水管等漏水修理事業			
予算科目	1 款 1 項 2 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課:	水道課	電話番号(内線):	714
記入者情報	所属長:	隅田 英久	担当責任者:	出本 宗一
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市民(上水道の利用者)			
根拠法令等	水道法			
事業の目的	上水道区域に清浄かつ安定的な給水を図るため。			
事業の内容	漏水箇所を早期発見、修理することで、限りある水資源の有効利用と道路陥没等の2次災害の防止を図る。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	毎年実施している漏水調査及び市民からの漏水情報の提供による漏水修繕や老朽管更新事業等で、漏水量は横ばいになってはいるが、更なる有収率向上のため、漏水情報の提供について広報誌・ホームページ等に掲載し、今以上に市民に周知するとともに、老朽管更新事業の拡大を図る。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	7,335	10,650	5,380	10,619
	人件費	6,399	4,311	2,196	4,311
	合計	0	14,961	7,576	14,930
人件費 内訳	人工数	0.80	0.53	0.27	0.53
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	6,399	4,311	2,196	4,311
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	13,734	14,961	7,576	14,930

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
漏水修理件数	件	230	240	175	324
修繕費	千円	7335	8880	5380	10619

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	10,000	10,000	10,000	10,000	0	40,000

成果指標				
成果指標	緊急対応率(3日以内に漏水修理を完了した件数÷漏水発見件数×100)カッコ内は、1件当たり費用(単位:千円)			
指標設定の考え方	緊急対応率により本事業の成果を把握することが可能なため。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	100(28)	100(28)	100(28)	100(28)
実績	96(32)	96(10)	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	前年度よりも件数が増加しているのは、メーター止水栓からの漏水の修理が増加したのが原因であるが、1件当たりの修理費用については減少している。漏水予防としては、漏水調査の結果や漏水履歴を把握し、老朽管更新・改良に鋭意取り組み、有収水量の向上を図る必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	A
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	突発的に発生した漏水また漏水調査で発見された漏水などは、即時の修理・改修を行うことで解決を図っている。既存配水管の漏水を前もって察知するのは不可能なことから、管種・布設年月日・漏水履歴情報を常に整理し、計画的な更新事業を実施することで、漏水の減少に繋げていく必要があると考える。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題